

子供と語るう！ 生き方・あり方。親が、地域が、学校が。

—— 三者が丸となって地域の子供を育てよう ——

平成9年度 福島県道徳教育振興会議

少年非行や校内暴力、いじめ、登校拒否が大きな社会問題となっています。このような現状を直視しつつ、家庭、地域、学校が互いに役割を理解し連携を図りながら、次世代に生きる子供たちが心豊かで健全に育つよう、道徳教育の一層の充実を願って次のことを提言します。

1 「家庭」で大切にしたいこと …… わが子の教育は家庭の大事な仕事です！

(1) しつけの中心は家庭です！

- 小さい頃から、あいさつ、言葉遣い、整理整頓のしっかりできる子供に育てましょう。
- 「ならぬことはならぬ」と態度で示し、善悪の判断ができる子供に育てましょう。

(2) 家庭でのふれあいを大切にしましょう。

- 家族のきずなを強め、自分の行動に責任の持てる子供に育てましょう。
- 家族の一員としての自覚が持てるよう、家庭での役割を持たせましょう。



(3) 親が行動の手本を示しましょう。

- 口先だけの親にならぬよう、ものを大切に作る心、感謝の心を行動で示しましょう。
- ゴミを出さない努力、分別収集など環境へのやさしさを行動で示し、公德心が育つようにしましょう。

2 「地域」で大切にしたいこと …… 地域の子供は地域で見守り、育てよう！

(1) 地域の子供とのふれあいを大切にしましょう。

- あいさつ、声かけで、子供と顔見知りになりましょう。
- よその子も、わが子同様に叱れるようにしましょう。

(2) ふるさとを愛する心を育てましょう。

- 地域の自然、文化のよさに気付き、子供とともに感動する体験を持ちましょう。
- 地域を愛し、守るため、子供とともにボランティア活動に汗を流しましょう。



(3) 地域の伝統と先人に学びましょう。

- 地域の伝統や、お年寄の知恵・生き方から学ぶことを大切にしましょう。
- 先人が育った地域に誇りを持ち、先人の教えに学びましょう。

3 「学校」で大切にしたいこと …… 地域に開かれた学校をつくり、心の教育を進めよう！

(1) 一人一人が喜んで登校し、笑顔で下校する学校をつくりましょう。

- 「わかる、できる授業」で、学ぶ喜びや楽しさを伝えましょう。
- 子供のよさを見つけ、伸ばしていける学校にしましょう。

(2) 自分たちの手で、よりよい生活を築こうとする子供に育てましょう。

- 人の心の痛みがわかる子供を育て、善悪のけじめのある学級をつくりましょう。
- 子供が主体的に取り組む環境美化活動、奉仕活動をすすめましょう。

(3) 家庭や地域との連携を大切にされた道徳教育を進めましょう。

- 道徳の授業参観を積極的に持ち、「心の教育」への関心を広めましょう。
- 豊かな体験活動を通し、思いやりや奉仕の心、規範意識を育てましょう。

